

チューリップの花芽分化状況について(7月31日現在)

平成 28 年 8 月 3 日
 経営普及課
 (農業革新支援担当)

農業総合研究所園芸研究センターにおけるチューリップ花芽定期観測結果から、今年の花芽分化及びノーズの伸長状況等について主要 3 品種のデータを紹介します。

1 供試球根

園芸研究センター本場 (砂壤土) 産球根

品種 (系統)	掘取日	調査サイズ	初期乾燥	貯蔵
プレルジューム (T)	6 月 9 日	11cm	自然乾燥	自然貯蔵
イルデフランス (SL)	6 月 9 日	11cm	自然乾燥	自然貯蔵
メリーウィドー (T)	6 月 9 日	11cm	自然乾燥	自然貯蔵

2 花芽分化の状況 (添付ファイル「T20160731data」参照)

- (1) 花芽分化のスタートは品種によりばらついたが、その後は 3 品種とも急速に分化・発達が進んでいる。
- (2) 品種別には、プレルジュームとイルデフランスは平年に比べて 20 日以上早く分化が完了 (G3 段階到達) している。ノーズの伸長も平年に比べてかなり早く進んでいるが、イルデフランスでは停滞が見られる。メリーウィドーは柱頭分化期 (G2) ~ 柱頭分化完成期 (G3) と、花芽分化段階は平年に比べてかなり早く進んでおり、ノーズの伸長も同様にかなり早い。
- (3) りん片含水率 (7 月 10 日定期調査) は、品種によりばらつきがあるが、3 品種とも平年に比べてやや高い。
- (4) 新潟地方气象台 (新潟市中央区) における本年 6 月の平均気温は 21.4℃で、平年 (20.7℃) よりやや高かった。7 月の平均気温は 24.6℃で、平年 (24.5℃) 並であった。6、7 月の平均気温を花芽分化予測図 (図 1) に当てはめると、今年は「緩慢型」と推測される。

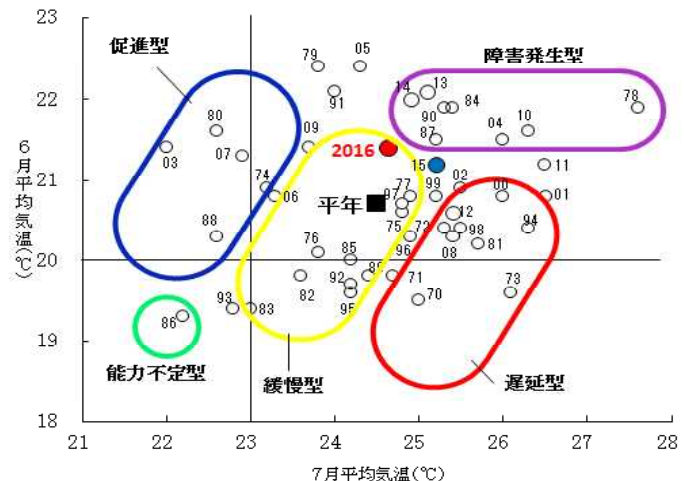


図1 気温と花芽分化・発達との関係(予測図、1997改定)

3 今後の技術的対応

- (1) 冷蔵計画策定に当たっては必ず花芽を確認し、無理のない作付計画を樹立する。
- (2) 今後も高温で経過することが予想されるので、冷蔵開始予定が8月上旬以降のものについても計画的に中温処理を行うのが望ましい。その際は、腐敗球の除去を徹底し、十分な換気に留意する。

※ 次回の生育情報は、8月5日調査のチューリップ花芽分化 (第7報) をお知らせする予定です。